

各 位

不動産投資信託証券発行者

ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人
代表者名 執行役員 佐藤 啓介
(コード番号：3278)

資産運用会社

ケネディクス不動産投資顧問株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 正彦
問合せ先 レジデンシャル・リート本部
企画部長 山本 晋
TEL：03-5157-6011

資金の借入れ及び金利スワップ契約締結に関するお知らせ

ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、本日、資金の借入れ及び金利スワップ契約締結について決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 借入れの内容

シリーズ	借入先	借入金額 (百万円)	利率 ^{(注1)(注2)}	契約締結 予定日	借入方法	借入実行 予定日	元本返済 期日 ^(注2)	担保・ 返済方法			
26-A ①	株式会社 三井住友銀行	500	基準金利 ^(注3) (全銀協1ヶ月 日本円TIBOR) +0.300%	2018年 7月25日	左記借入 先を貸付 人として 締結予定 の個別貸 付契約に 基づく借 入れ	2018年 7月30日	2019年 7月31日	無担保 無保証 ・ 期日一括 返済			
26-A ②	株式会社 新生銀行	500									
26-B ①	株式会社 三井住友銀行	1,000	基準金利 ^(注3) (全銀協1ヶ月 日本円TIBOR) +0.300%				2021年 7月31日				
26-B ②	株式会社 新生銀行	1,000									
26-B ③	株式会社 三菱UFJ銀行	500					2027年 1月30日				
26-B ④	株式会社 みずほ銀行	500									
26-C	日本生命保険 相互会社	500	0.900% (固定金利)								
27①	株式会社 三井住友銀行	1,830	基準金利 ^(注3) (全銀協1ヶ月 日本円TIBOR) +0.350%				2018年 7月31日		2019年 7月31日		
27②	株式会社 みずほ銀行	800									

ご注意：本報道発表文は本投資法人の資金の借入れ及び金利スワップ契約締結に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧ください。投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

28-A	株式会社三井住友銀行をアレンジャーとする協調融資団 (注4)	5,700	基準金利 ^(注3) (全銀協1ヶ月 日本円 TIBOR) +0.375%	2018年 7月31日	2018年 8月2日	2020年 1月31日
28-B	株式会社三井住友銀行をアレンジャーとする協調融資団 (注5)	7,000	基準金利 ^(注3) (全銀協1ヶ月 日本円 TIBOR) +0.525%			2026年 2月2日

(注1) 利払期日は、2018年8月末日を初回として以後1ヶ月毎の末日及び元本返済期日です。

(注2) 利払期日及び元本返済期日がそれぞれ営業日以外の日に該当する場合には翌営業日とし、かかる営業日が翌月となる場合には前営業日とします。

(注3) 全銀協の日本円 TIBOR については、一般社団法人全銀協 TIBOR 運営機関のホームページ (<http://www.jbatibor.or.jp/rate/>) でご確認いただけます。

(注4) 協調融資団は、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社新生銀行、株式会社りそな銀行、三井住友信託銀行株式会社、みずほ信託銀行株式会社、株式会社あおぞら銀行及び株式会社福岡銀行により構成されています。

(注5) 協調融資団は、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社日本政策投資銀行、日本生命保険相互会社、株式会社りそな銀行、株式会社新生銀行、三井住友信託銀行株式会社、みずほ信託銀行株式会社、株式会社あおぞら銀行及び株式会社福岡銀行により構成されています。

2. 借入れの理由並びに調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) シリーズ 26

2018年3月1日付で効力が発生した本投資法人を吸収合併存続法人、ジャパン・シニアリビング投資法人（以下「JSL」といいます。）を吸収合併消滅法人とする吸収合併により、本投資法人が JSL より承継した借入金のうち、2018年7月30日に返済期限が到来するシリーズ 1-B（35億円）並びにシリーズ 3-①及び 3-②（合計10億円）の返済資金に充当するため^(注)。

(注) シリーズ 1-B 並びにシリーズ 3-①及び 3-②の概要は、JSL による 2015年7月29日付「資金の借入れ及びスワップ契約の締結に関するお知らせ」及び 2017年7月26日付「資金の借入れ（シリーズ 3）に関するお知らせ」をそれぞれご参照ください。

(i) 調達する資金の額

合計 4,500,000,000 円

(ii) 調達する資金の具体的な使途

上述のとおり

(iii) 支出予定時期

2018年7月30日

(2) シリーズ 27

2018年7月31日に返済期限が到来するシリーズ 22①及び 22②（合計16.3億円）並びにシリーズ 23（10億円）の返済資金に充当するため^(注)。

(注) シリーズ 22①及び 22②並びにシリーズ 23の概要は、2017年7月18日付「資金の借入れに関するお知らせ」及び 2017年7月25日付「資金の借入れに関するお知らせ」をそれぞれご参照ください。

(i) 調達する資金の額

合計 2,630,000,000 円

ご注意：本報道発表文は本投資法人の資金の借入れ及び金利スワップ契約締結に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出席出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

(ii) 調達する資金の具体的な用途
上記のとおり

(iii) 支出予定時期
2018年7月31日

(3) シリーズ 28

2018年7月13日付「資産の取得及び貸借に関するお知らせ（居住用施設4物件及びヘルスケア施設5物件）」に記載の不動産信託受益権（9物件）の取得資金及び関連費用の一部に充当するため^(注)。

(注) 詳細につきましては、2018年7月13日付「資産の取得及び貸借に関するお知らせ（居住用施設4物件及びヘルスケア施設5物件）」をご参照ください。

(i) 調達する資金の額
合計 12,700,000,000 円

(ii) 調達する資金の具体的な用途
上記のとおり

(iii) 支出予定時期
2018年8月2日

3. 金利スワップ契約

(1) 金利スワップ契約締結の理由

変動金利の条件で借入れを行うシリーズ 26-B①②③④及びシリーズ 28-B について金利上昇リスクをヘッジするため。

(2) 金利スワップ契約の内容

	シリーズ 26-B①	シリーズ 26-B②	シリーズ 26-B③	シリーズ 26-B④
相手先	未定 ^(注)			
想定元本	1,000 百万円	1,000 百万円	500 百万円	500 百万円
金利	固定支払金利	未定 ^(注)		
	変動受取金利	基準金利（全銀協1ヶ月日本円 TIBOR）		
開始日	2018年7月30日			
終了日	2021年7月31日			
支払日	2018年8月末日を初回として、以後1ヶ月毎の末日及び終了日（当該日が営業日でない場合には翌営業日とし、かかる営業日が翌月となる場合には前営業日）			

(注) 未定の事項については、2018年7月26日に決定予定であり決定次第お知らせいたします。

ご注意：本報道発表文は本投資法人の資金の借入れ及び金利スワップ契約締結に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

		シリーズ 28-B
相手先	未定 ^(注)	
想定元本	7,000 百万円	
金利	固定支払金利	未定 ^(注)
	変動受取金利	基準金利（全銀協 1 ヶ月日本円 TIBOR）
開始日	2018 年 8 月 2 日	
終了日	2026 年 2 月 2 日	
支払日	2018 年 8 月末日を初回として、以後 1 ヶ月毎の末日及び終了日（当該日が営業日でない場合には翌営業日とし、かかる営業日が翌月となる場合には前営業日）	

(注) 未定の事項については、2018 年 7 月 31 日に決定予定であり決定次第お知らせいたします。

4. 本件借入れ実行後の有利子負債の状況（2018 年 8 月 2 日時点）

(単位：百万円)

区分	本件借入れ前	本件借入れ後	増減額
短期借入金 ^(注1)	3,630	2,630	-1,000
1 年内返済予定の長期借入金 ^(注2)	16,000	13,500	-2,500
長期借入金 ^(注3)	83,500	99,700	+16,200
借入金合計	103,130	115,830	+12,700
投資法人債	3,000	3,000	—
有利子負債合計	106,130	118,830	+12,700

(注1) 短期借入金とは、借入日から返済期日までが 1 年以下の借入れをいいます。ただし、借入日から 1 年後の応当日が営業日以外の日で該当した場合で返済期日を当該翌営業日とし、1 年超となった借入れは、短期借入金に含みます。

(注2) 1 年内返済予定の長期借入金とは、長期借入金のうち返済期日が 1 年以内に到来する借入れをいいます。

(注3) 長期借入金とは借入日から返済期日までが 1 年超の借入れをいいます。

5. その他

本件借入れに関わるリスクに関して、2018 年 7 月 13 日提出の有価証券届出書に記載の「投資リスク」から重要な変更はありません。

6. 今後の見通し

本件による 2018 年 7 月期（2018 年 2 月 1 日～2018 年 7 月 31 日）、2019 年 1 月期（2018 年 8 月 1 日～2019 年 1 月 31 日）及び 2019 年 7 月期（2019 年 2 月 1 日～2019 年 7 月 31 日）の運用状況への影響は軽微であり、運用状況の予想に変更はありません。

以 上

* 本資料の配布先：兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.kdr-reit.com/>

ご注意：本報道発表文は本投資法人の資金の借入れ及び金利スワップ契約締結に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。